

別紙標準様式（第 7 条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		令和 8 年度第 1 回枚方市廃棄物減量等推進審議会	
開 催 日 時		令和 8 年 7 月 21 日（火）	10 時 00 分から 11 時 30 まで
開 催 場 所		枚方市総合文化芸術センター別館 6 階 大会議室	
出 席 者		橋本征二会長、早川孝副会長、仲上真平副会長 石川聡子委員、 田村有香委員、稲森郁子委員、大下和徹委員、廣永秀人委員、 藤波智子委員、森佳悦委員、前田達也委員、山縣純司委員	
欠 席 者		白石眞理子委員、田元浩委員、黒川裕司委員	
案 件 名		案件 1 令和 7 年度の生活排水処理の実績について 案件 2 令和 7 年度のごみ処理の実績について 案件 3 令和 8 年度の主なごみ減量等施策の取り組みについて 案件 4 令和 8 年度の主な食品ロス削減施策の取り組みについて	
提出された資料等の 名 称		・ 次第 ・ 資料 1_令和 7 年度の生活排水処理の実績について ・ 資料 2_令和 7 年度のごみ処理の実績について ・ 資料 3_【ごみ】令和 8 年度の取り組みと進捗状況 ・ 資料 4_【食品ロス】令和 8 年度の取り組みと進捗状況 ・ 参考資料_枚方市廃棄物減量等推進審議会委員名簿	
決 定 事 項		・ 令和 7 年度の一般廃棄物処理の実績について確認した。 ・ 令和 8 年度のごみ減量施策について、進捗状況を確認した。 ・ 令和 8 年度の食品ロス削減施策について、進捗状況を確認した。	
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由		公開	
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由		公表	
傍 聴 者 の 数		2 人	
所 管 部 署 （ 事 務 局 ）		環境部 循環型社会推進課	
審 議 内 容			
橋 本 会 長	定刻となりましたので、ただいまから令和 8 年度第 1 回枚方市廃棄物減量等 推進審議会開催させていただきます。 それでは事務局から委員の出席状況の報告をお願いします。		

事 務 局	本日の委員の出席状況は、15 名中 12 名の委員に出席いただいておりますので、本会議につきましては、成立していることを報告させていただきます。
橋 本 会 長	ありがとうございます。 続きまして、本日の審議会の傍聴希望者の確認をさせていただければと思います。傍聴希望者はおられますか。
事 務 局	2名の傍聴希望者がおられます。
橋 本 会 長	わかりました。 それでは傍聴を認めたいと思いますので、傍聴希望者の方に入場してもらってください。 (傍聴者入場)
橋 本 会 長	本年度最初の審議会となりますが、事務局からご挨拶の申し出がございましたので、よろしくお願いします。
事 務 局	(環境部長挨拶)
橋 本 会 長	ありがとうございます。 次に、議事に入ります前に、資料の確認をお願いします。
事 務 局	(資料確認)
事 務 局	ここで、7月3日付及び、7月13日付で、委員の交代がございましたので、ご報告をさせていただきます。参考資料ご覧ください。 関係業者団体選出委員として、北大阪商工会議所の、大塚正矩氏に代わりまして、仲上真平氏が委員となりました。同じく関係業者団体選出委員として、枚方市工業会の野々上智則氏に代わりまして、黒川裕司氏が委員となりました。なお、黒川委員は本日所用のためご欠席の連絡を受けております。 また、仲上委員には、前任の大塚委員に引き継ぎ、副会長を務めていただきます。 任期の途中での交代となりますが、よろしくお願いします。 事務局からは以上です。
橋 本 会 長	ありがとうございます。

	どうぞよろしくお願いいたします。 それでは早速案件に入らせていただきます。
案件1 令和7年度の生活排水処理の実績について	
橋本会長	案件1は、令和7年度の生活排水処理の実績についてということで、事務局から説明をお願いします。
事務局	それでは資料1に沿ってご説明させていただきます。 (事務局説明)
橋本会長	ありがとうございます。 ただいま事務局からありました説明について、何かご意見・ご質問があればお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。
田村委員	資料1を見ると、生活排水適正処理率は順調に向上していて、これは市街地と比較して郊外の人口減少が大きいことが主な要因で、現状の取り組みを進めれば、いずれ生活排水適正処理率の目標値に届くという見通しかと思います。 その上で、下水道に接続することができる地区において、まだ接続されていない家屋はおそらく古い家屋が多いはずです。例えば家を売ったり解体したりと、不動産が動くタイミングで、市から助成金などの働きかけができれば、接続に繋がりがやすいのではないのでしょうか。こういった、不動産が動くタイミングを狙った施策は何かお持ちでしょうか。
事務局	実際に下水道が家屋の近くまで整備されているのに接続されていない方が減っていることで、生活排水適正処理率の数字が上がっている部分もございます。 下水道接続の促進についてですが、下水道の処理区域になってから3年以内であれば補助金の交付制度があります。ただ、それを過ぎてしまった方への対応は難しいところです。 一つの方向性としては、「空き家対策」が挙げられます。古い家を建て替えるとなれば、汲み取り式のトイレをそのままにすることはありませので、空き家対策を進めることが、結果的に下水道の接続や水洗化の改善に繋がっていくのではないかと考えております。
廣永委員	こちらの資料には人数が記載されていますが、具体的にどれくらいのご家庭が対象になっているのでしょうか。
事務局	具体的な数字は今手元にないのですが、未接続の世帯の割合がかなり少なく

	なっている中で、どうしても説得が難しいお宅にどう対応していくかが課題となっています。汲み取り式のお宅に対しては、これまでも担当部署などが直接働きかけを行ってきました。今後もやはり一番望ましい「下水道への接続」をお願いしつつ、もし費用面などで難しい場合は「合併浄化槽」への切り替えをご提案するなど、引き続き粘り強くアプローチしていくしかないと考えております。
廣 永 委 員	生活排水適正処理率については、ものすごく高い水準にきているだろうと思いますが、大阪府全体の中で見たときに、枚方市は今どのくらいのポジションにいますのでしょうか。
事 務 局	令和5年度時点のデータにはなりますが、枚方市の生活排水の適正処理率は99%でした。大阪府全体の平均が97%で、本市は府内で10番目と高い水準にある状況です。 生活排水処理率がここまで来ますと、急激に数字が上がるという段階ではありませんが、下水道接続等の生活排水の適正処理を引き続き粘り強くお願いをしていきながら、やはり目標は100%ですので、少しずつ今の私たちにできることを着実に進めていくというのが、現在の状況かなと思っております。 また、生活排水の処理状況という点では、河川のBOD（生物化学的酸素要求量）などの数値もしっかりと基準が守られていますので、市全体で見れば適正に処理できているのではないかと考えております。
橋 本 会 長	ありがとうございます。 その他よろしいでしょうか。 それでは、次の案件へ進みます。
案件2 令和7年度ごみ処理の実績について	
橋 本 会 長	続いて、案件2は、令和7年度のごみ処理の実績についてです。 それでは、事務局から説明をお願いいたします。
事 務 局	それでは資料2に沿ってご説明させていただきます。 （事務局説明）
橋 本 会 長	ただいま事務局から説明のありました内容について、何かご意見・ご質問があればお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。
廣 永 委 員	資料2の2ページのごみの焼却量の推移について質問です。令和8年度のごみの焼却量の目標値はないのでしょうか。

事 務 局	令和 8 年度につきましては、具体的な目標数値は定めておらず、現計画では、中間目標年度である令和 12 年度と最終目標年度である令和 17 年度について、目標値を設定している状況です。
廣 永 委 員	令和 6 年度と令和 7 年度のごみの焼却量実績の差を見ると、これまでに比べてごみの削減ペースが鈍化しているのではないのでしょうか。
事 務 局	過去 10 年間の推移を見ますと、年々減少傾向にあります但年度ごとに振れ幅があり、現状、削減ペースが鈍化していると明確に判断することは難しい状況と考えています。削減量は令和 3 年度から 4 年度にかけては約 1,900 トン、4 年度から 5 年度は約 2,500 トン強、5 年度から 6 年度は約 1,800 トンとなっております。
廣 永 委 員	令和 6 年度から 7 年度にかけての削減量は約 1,000 トンとのことですので、やはり少し鈍化しているように感じます。
事 務 局	令和 7 年度のごみの組成分析調査の結果では、まだリサイクルできる紙や、食品ロスがそれぞれ 10%ほど含まれていることが分かりましたが、この割合は 5 年前とあまり変わっていません。ごみ全体の量が減っているために割合が変わらないという背景もあるかもしれませんが、今後も 4R 活動を続け、さらに減らしていきたいと考えています。あわせて、プラスチック製品やこれまで燃やしていたごみのリサイクルも進め、目標の達成に向けてしっかりと取り組んでまいります。
廣 永 委 員	最終処分量というのはこういった項目の数値でしょうか。
事 務 局	最終処分量については、焼却や資源化ができなかったごみを計上しています。具体的には、リサイクルできないごみや、燃やせないごみがこれに当たります。また、ごみを燃やした後に残る「焼却灰」についても、最終処分量として計上しております。
大 下 委 員	温室効果ガスの排出量について、今後、新ごみ処理施設稼働による発電効率の向上によって、削減が進むなどの影響はあるのでしょうか。
事 務 局	この温室効果ガスの排出量につきましては、発電量との差し引きは行っていない状況です。
橋 本 会 長	温室効果ガスの排出量の算定には、ごみ収集時の燃料使用量は項目として

事務局	入っているのでしょうか。
橋本会長	パッカー車の収集運搬の燃料なども含めて算定しています。ごみ処理事業に伴う温室効果ガスの排出量として関連するエネルギー使用量は含んでおります。 ありがとうございます。 その他よろしいでしょうか。 市の再資源化量が減少傾向となっておりますが、この点の改善も含めて、次の案件から目標達成に向けた令和８年度の取り組みについての内容となります。
案件３ 令和８年度の主なごみ減量等施策の取り組みについて	
橋本会長	単年度ごとの具体的な計画である令和８年度枚方市一般廃棄物処理実施計画を昨年度、最後の審議会で確認の上、市の方で策定されていますが、この計画で位置付けた取り組みについて、現在の進捗や今後の予定をまとめていただいています。 それでは、案件３ 令和８年度の主なごみ減量等施策の取り組みについて事務局から説明をお願いします。
事務局	それでは資料３に沿ってご説明させていただきます。 （事務局説明）
橋本会長	ただいま事務局からありました説明について、何かご意見・ご質問があればお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。
廣永委員	６ページの雑がみ保管袋は、市民向けの環境学習などでも配っていないのでしょうか。
事務局	現状はお配りしていませんが、今後は出前授業の内容に合わせて、例えば、古紙リサイクルをご説明する出前授業などにおいて雑がみ保管袋の活用を検討していきたいと考えております。
橋本会長	小学４年生には全員に配布されてるのでしょうか。
事務局	ごみとリサイクルの話の環境学習を実施した小学４年生全員に配布しております。

橋 本 会 長	環境学習は市内の全小学校で実施しているのですか。
事 務 局	全小学校ではなく、環境学習の申込のあった小学校に実施させていただいているところです。
大 下 委 員	「大型ごみ持出しサポート収集」について、今年度の年間利用件数はどの程度を見込んでいるのでしょうか。また、サポート収集への対応するための体制について教えてください。
事 務 局	まず、体制につきましては、7台の車両を配備しています。予約状況に応じて変動しますが、平均して1日あたり2～3台で対応しております。ご依頼が集中しやすい時期もありますが、工夫しながら運用しております。 次に、件数の見込みにつきましては、今年度4月から利用対象を「65歳以上」に拡大した影響もあり、利用率が高まっております。直近3ヶ月間の申込数152件のうち、新たに加わった65歳から74歳の方からの申し込みが39件を占めました。委員のご指摘のとおり、利用件数がかんりのペースで伸びているため、今年度の年間件数がどこまで増えるか、現時点では正確な予測が難しい状況です。 まずはこの1年間、現在の体制でしっかりと対応しながら状況を注視し、今後の事業のあり方について精査してまいります。
大 下 委 員	よく分かりました。 もう1点、枚方市リサイクルセンターについて、開設されてからまだ間もないですが、各種実績数値があれば教えてください。また、将来の跡地活用に向けたスケジュール感などもあれば、あわせてお聞かせください。
事 務 局	リサイクルセンターの6月の各種実績についてご報告します。来場された方は1,042名で、リユース品の持込みは延べ300名以上の方にご利用いただきました。また、センターでのリユース品の販売数は468点で、同時期にスタートしたメルカリでの出品登録も販売数は102点であり、販売したリユース品は合計で1,290.7kgです。順調に多くの方にご活用いただき、これまでごみとして処分されていたものが、再利用に繋がっていると考えています。 跡地活用につきましては、これまで焼却処理施設などの用途で使っていた土地であることを踏まえて、跡地を市民の皆様はどう使っていただくか、またこれからのリサイクル施設をどうしていくかを含め、できることの範囲や条件等をしっかりと整理していく必要があります。できるだけ早く進めたいと考えておりますが、しっかりと構想案を固め、パブリックコメントなどで市民のみなさまのご意見を伺いながら、構想の策定に向けて、取り組みを進めていきたいと考えています。

稲 森 委 員	資料3の6ページの雑がみ保管袋についてですが、リサイクルできるものを掲載するのはとても伝わりやすいですね。これを全世帯に配るのは難しいかと思いますが、できるだけ市民のみなさまへ広めていってほしいと思います。例えば、枚方リサイクルセンターに来られた方にもお配りするなどはどうでしょうか。最近は紙袋が有料になり、もらわない方も増えているため、ご家庭で雑がみをストックしておく入れ物がないんですよね。だからこそ、この「枚方市指定の保管袋」の存在がもっと市民の皆さんに認知できれば、しっかりと雑がみを集めていただけるのではないかと思います。一番の理想は、そもそも雑がみが出ない社会になることですが、まずはこうした袋を活用して回収を促進できればと思います。
事 務 局	組成分析調査の結果、リサイクルできる紙が「一般ごみ」に10%程度含まれていることの背景には、捨てるときに、リサイクルできるものかどうかわからないから一般ごみとして出す方が一定数おられるかと思います。こういった取り組みを、まずは小学4年生から始めさせていただきましたが、できるだけいろいろな形で広げていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
稲 森 委 員	資料3の4ページの動画コンテンツについても作成ありがとうございます。面白い動画を発信いただければと思います。
事 務 局	毎月配信するのは難しいかもしれませんが、色々な視点や角度から楽しい動画を作ってまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。
廣 永 委 員	大型ごみ持出しサポート収集は65歳以上の世帯であればすべて対象なのですか。
事 務 局	65歳以上の方の世帯は、すべて対象になっております。
藤 波 委 員	資料3の5ページの4R教育について、ご家庭で主に4R行動を取っていただくのは親御さんになると思うので、親子で一緒に参加できるプログラムがあれば、より効果的ではないかと感じています。環境学習を受けて「楽しかった」で終わってしまわないように、親子なら「一緒に家でもやってみよう」と行動に繋がりやすいのではないかと思います。すでにご検討いただいているかもしれませんが、よろしくお願いいたします。 もう一点、動画コンテンツの発信についてですが、YouTubeを見ない人たちにも届くように、例えば市役所のテレビで流したり、街中で見られたりする工夫があれば、もっと良くなるのではないかと思います。

事 務 局	4 R教育につきまして、親御さんも含めてやっていくってということが、我々としても非常に重要なことだと考えております。 今後、そういった取り組みを展開できるのかも含めて検討させていただきたいと思います。 また、動画につきまして、市役所本庁舎にあるデジタルサイネージなどを活用した情報発信を今後検討してまいります。
橋 本 会 長	子どもが環境学習を受けて、家に帰ってから話すきっかけづくりをプログラムに導入する工夫を検討してみてもいいかもしれませんね。
田 村 委 員	資料3の6ページ、古紙リサイクルの雑がみ保管袋について、私もこの効果を自分自身実感したことがあります。この取り組みを継続して進めていくことを考えると、紙袋を作るのに結構なお金がかかるのではと思うので、そのあたりの工夫についても検討いただければと思います。例えば、紙袋の余白を利用して、協賛企業の広告を掲載して広告掲載料を取るなどです。そこからさらに発展させて協賛企業に、事業系の雑がみをうまく分ける方法などを一緒に考えてもらうなど一緒に巻き込んでやっていくような方法もおもしろいかなと考えます。
事 務 局	現状、市の予算で作らせていただいているので、継続して取り組んでいくための財源確保についての工夫なども今後検討していきたいと思います。
廣 永 委 員	雑がみ保管袋を一つ作るのにいくらかかりますか。
事 務 局	雑がみ保管袋の作成費用につきましては、1袋当たり、84円となっております。
前 田 委 員	ごみになる袋を、お金をかけて作って配ることに少し疑問を感じます。 紙袋を用意しない方法でも、リサイクルできる雑がみを掲載した、例えば広報誌などを切り取ってご家庭で活用いただくなどの方法もあるのかなと思いました。
事 務 局	雑がみを分別してもらうきっかけとなるように、今回、活用しやすい保管袋という形で取り組ませていただきました。継続して取り組んでいけるよう工夫していきたいと思います。
案件4 令和8年度の主な食品ロス削減施策の取り組みについて	
橋 本 会 長	それでは、続きまして案件4食品ロス削減施策の取り組みについて、ご説明よろしくお願いします。

事 務 局	それでは資料４に沿ってご説明させていただきます。 (事務局説明)
橋 本 会 長	ただいま事務局からありました説明について、何かご意見・ご質問があればお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。
橋 本 会 長	私の方から質問です。 食品ロスポータルサイトにおいて動画掲載などは予定していないのですか。
事 務 局	現状ではまだ動画の掲載はしていませんが、今後、発信していきたいと思っております。
その他	
橋 本 会 長	その他よろしいでしょうか。
早 川 委 員	１点だけお話しさせていただきます。前年度の審議会でもお話させていただいた色付きのレジ袋の件についてです。 スギ薬局グループのジャパンが地域にあるのですが、薬の中身が見えないように緑色のレジ袋を使われていますが、先日もお伝えした通り、この袋を使った不法投棄やルール違反のごみの排出が地域で起こっています。 事業者はその地域で商売をしている以上、地域貢献とまでは言わなくとも、地域に迷惑をかけないようにする責任があると、私は思っています。「買った人のモラルの問題だ」と言われるかもしれませんが、事業者側も透明袋にするなどの協力をすべきです。最近では他の企業のものか、薄い黄色の袋が捨てられているのも見かけます。 そうした不法投棄や違反ごみを片付けるのは、地域の自治会などの役員です。このような余計な仕事があることで、自治会やコミュニティの役員を敬遠される住民の増加にも繋がっていると思います。地域コミュニティをなんとか維持していくためにも、強制することは難しいとは思いますが、機会をとらえて、市から事業者へ呼びかけをしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
事 務 局	ご意見ありがとうございます。 中身が見えない袋による不法投棄やルール違反への対策としては、事業者への働きかけと同時に、ごみを出す側へのルールの再周知や、地域での見回り強化など、両面から対策を行っていく必要があると考えています。 ご認識のとおり、袋を透明にするよう強制することはなかなか難しいと考えていますが、地域の皆様が実際に困っているという事実を受け止め、市として

	できる限りの対策を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。
橋 本 会 長	その他事務局から連絡事項ございますか
事 務 局	次回の審議会につきましては、開催時期が決まり次第、後日、委員の皆さまに連絡させていただきますので、お忙しい中恐縮ですが、引き続き、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。 事務局からは以上です。
橋 本 会 長	委員の皆さまや事務局から特になければ、本日の審議会を終了させていただきますと思います。 ありがとうございました。